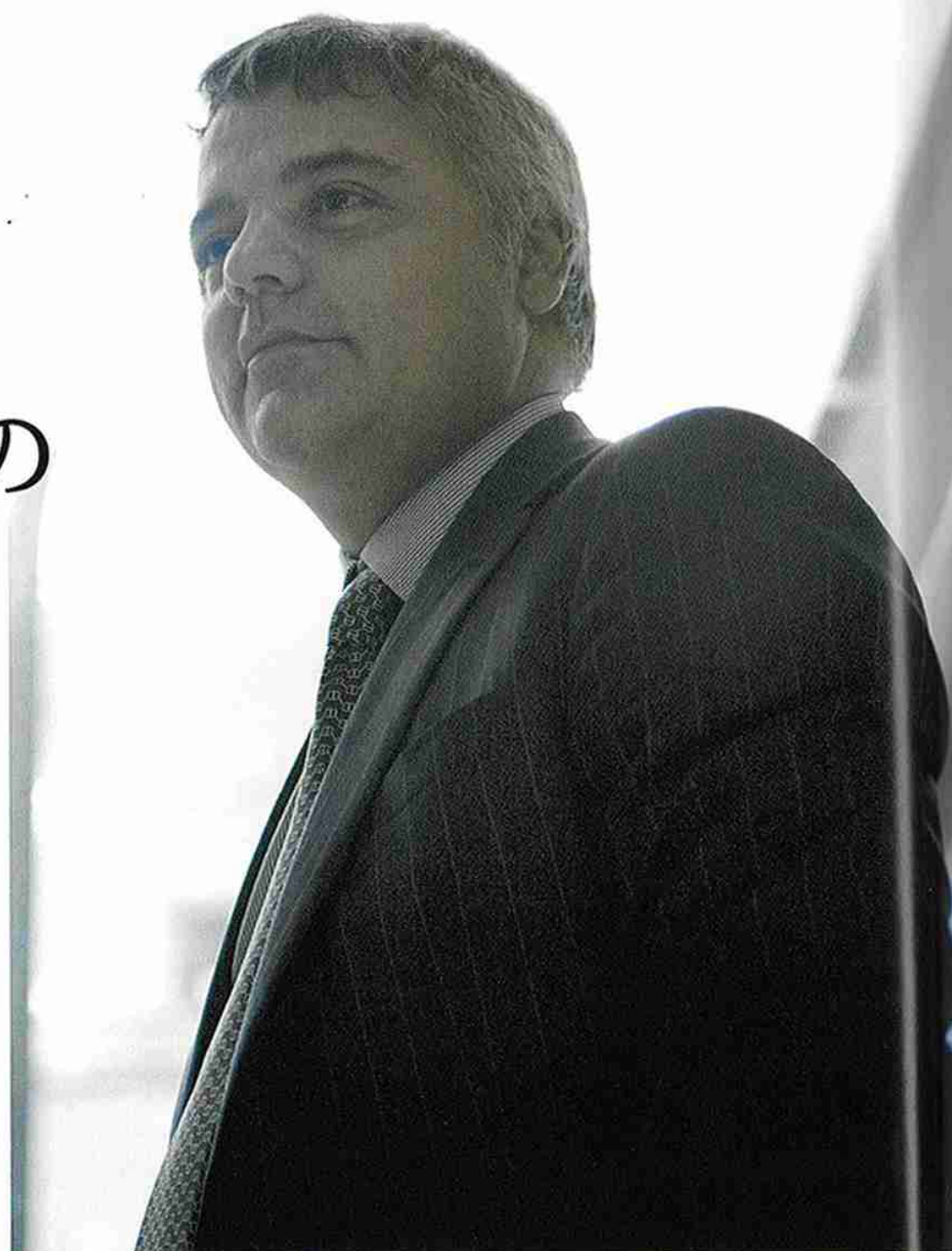


DESIGN
COLUMN.1

独立系デザイナーの 視点



**道具がデザインを変える
のではなく、重要なのは
あくまでデザイナーの感性**

技術の進化がもたらしたデザイン革命。これを語るに打って付けの人物がいる。タイムックス グループでクリエイティブデザイナーを務めるジョルジオ・ガリ氏だ。彼はスウォッチグループやモバードなどで研鑽を積み、ヴェルサーチ・ウォッチのオフィシャルデザイナーを経て、現職に至る。彼のように、数千円のものから数万円のものまで、数千万円のデジタルウォッチまで手掛ける時計デザイナーは極めて稀だ。しかも、ガリ氏は独立系のデザイナーである。

ジョルジオ・ガリ氏。タイムックス グループのクリエイティブデザイナー。1962年、イタリア生まれ。フィレンツェ芸術学校を卒業後、スウォッチ、モバードなどの時計デザインを手掛け、ノーティカウォッチのデザインを契機にタイムックス グループの時計デザインに関わる。現在、同グループと専属契約を結び、TXなどをデザイン。

「時計の製法や技術の進化を熟知していなければ、説得力のある提案は決してできない。」

何が時計のデザインと価格を決めるのか。彼は次のように説明する。「時計のデザインは文字盤で70%決まってしまう。高級な時計は文字盤の作りが違います。さらに、安価な時計に比べて造形に立体感があります。ベゼルの処理をとつても、安価なモデルはコストを考慮しなければなりません。ハイエンドには制約がありません。だからこそ、ベゼルのエッジの処理に、ゆるやかな曲面を与えられるのです。十数年にわたって、時計デザインの第一線にいるガリ氏。技術の進歩はデザインの可能性を広げたのだろうか。「広げた場合もあるし、そうとも言えない場合もある。ただ、レンダリング（3次元グラフィックス）の普及によってクライアントへの提案は早くなりました。また、3Dプリンターを使うこと



「TX800 リニアクロノグラフ」。9時位置の30分積算計が垂直に移動する。タイムックスのハイエンドモデルらしく、ガリ氏がいう「立体感」が盛り込まれている。クォーツ。Ti(直径47mm)。10気圧防水。10万5000円。(問)日本シイベルヘグナー ☎03-5441-4515

で、モックアップの製作も短縮されました」。3Dプリンターとは、3次元CADなどのデータをもとに自動でモックアップを製作するシステム。「3Dプリンターによって、装着感や立体感を把握するのが容易になりました」。

技術進歩の恩恵は他にもあると彼は説明する。「例えば、「TX」のアプリドインデックス。ファーストモデルは文字盤に穴を開け、インデックスをひとつひとつ取り付けていた。現在は接着によって生産コストが下がりました」。ミドルレンジ以下にもアプリドインデックスが普及したはずである。18年前からフォトショップを使うガリ氏。独立系のデザイナーとして、彼が技術進歩の恩恵を受けていることは間違いない。だが、彼はこうも述べた。「確かに技術はデザインの幅を広げた。しかし、道具がデザインを変えたわけではありません。重要なのは、あくまでデザイナーの感性なのです」